市民と創る、新しい大村。

既に着手した事業は、スピードを上げて進めます。
今後の事業計画で、見直すべきは勇気をもって見直します。
さらに、市民と議会からの新しいアイデアを盛り込み、
様々な施策を実行します。

まずは、私の考えを知って下さい。
そして、皆様の声を、議会の声を、聴かせて下さい。
そうやって、９万４千人全員で新しい大村を始めていきましょう。

経済／農林水産業／建設

市内業者の経済活性化

❶今後計画された大型事業などに対して、可能な限り市内業者が受注できる経済の活性化と循環の仕組みを構築します。(入札制度の見直しと中小企業振興基本条例の改正)
❷市内全域の商店(大村に本社を有する)や公共施設利用で「貯める！使える！」地域プレミアム通貨を発行し、市内経済を活性化します。
❸長崎空港24時間化を実現し、物流・経済・観光のハブ機能を構築します。

攻める農林水産業

❶地産地消を軸に、大村市東京事務所の強化と積極的なマーケティングを進めたブランド化を図ります。
❷バイオマスエネルギーと連携した営農コストの削減を図り、儲かる農林水産業を実現します。
❸今後の公共施設再整備に伴う新築・改修には、県産の木材使用を進め、木の温もりと環境に配慮した建造物とします。

地場産業の育成と連携

❶今後計画されている中学校給食センターに、地元生産物で作る《地産地消 農村レストラン》を併設開業します。地産地消の給食を中学生へ、同食材で作ったレストランメニューは市民へ、『作る、食べる、売れる』の複合化を目指します。
❷地場企業間の連携およびマッチングによる産業開発(大村オリジナル商品)を積極的に進めます。
❸市役所側から市内事業所へ積極的な訪問調査を行い、新たな事業展開や商品開発を進める「がんばる企業」や「創業者」支援を充実します。

医療／福祉／教育

高齢者や障害者を支える医療・福祉体制の構築

❶地域包括ケアシステムの早期実現。
住み慣れた地域で自分らしく暮らし人生の最期を迎えられるように、医療や介護・看護・生活支援などネットワーク体制を構築します。
❷在宅療養を支える地域医療の整備と施設間連携強化。市内を地域ブロックに分けた医療・福祉施設の連携強化、地域住民と医療・福祉従事者との情報共有、認知症対策のための人材育成など、きめ細かい在宅医療体制を構築します。
❸スポーツ施設(テニスコート・グラウンドグルフ・野球場)を充実し、予防医療と健康寿命対策を強化します。

子ども達を支える安心・安全な環境整備

❶中学生まで医療費を無料化します。
❷中学校給食の早期実現と食育の推進を図ります。
❸小中学校教室へのエアコン設置、児童(生徒)や教員へのAED使用方法の徹底、通学路や自転車事故防止策を進めます。

郷土を愛し、命を守る、地域教育日本一

❶公立幼稚園／保育園／小学校／中学校の併設・連携により、地域を愛し地域で育てる大村独自の一貫教育を進め、学力向上と生きる力を養う教育環境を整備します。
❷命を生み、守る、育てるための、出産支援・自殺予防・子育て支援を進めます。また、動物の命も同様に、殺処分ゼロを目指し里親制度の充実を図ります。
❸市内周辺部の定住化促進による児童数確保、校区割りを見直しマンモス化の解消と地域コミュニティの再生を図ります。

財政／環境／企画

組織改革、行政改革、財政改革

❶市役所組織に事業本部制を導入し、予算や人事、責任と権限を与えた意識改革を図ります。
❷行政改革による事務事業の見直しと、更なる財政健全化を進めます。
❸市有地の積極的な売却と整理、定期借地権や資産活用による新たな財源確保を進めます。

市役所を新築移転、バス交通の見直しと充実、公共施設の再整備計画

❶市役所の新築移転先として、さくらホール駐車場か新幹線駅前を候補地と考えます。市役所1階部分には県営バスターミナルを併設した複合施設化を図ります。
❷市内４拠点(市役所、大村駅、新大村駅、新幹線車両基地)や医療機関、商業施設等を巡回する県営バスと、住宅や商業地域を巡回する民間バスの導入を図り、きめ細かいバス交通体系へ見直します。
❸老朽化した公共施設の再整備(新築／改修／廃止)を進め、市民が利用しやすい行政サービス拠点を整備します。

市民会館の早期新築、大村湾を活かしたイベント企画、ボート場の多角的運営

❶市民会館の早期新築計画を進めます。また、県立・市立一体型図書館を拠点に文化・芸術エリアと位置付け、市民の音楽・文化・芸術活動の推進を図ります。
❷大村湾を活かしたイベントとして、「チャリソン(自転車＋マラソン)大村湾一周」、「大村湾沿岸自治体で日本一の花火大会」などを企画開催します。
❸ボート事業について、若者の遊び場となるエクストリーム・マリンスポーツを絡めたレジャー施設へとイメージ転換を図ります。